

ヘクソカズラ

[草本] 《忌避》



イヌビワの上を這っている。



葉は対生する。



花冠の中心が赤い。

区別のポイント

葉は対生し葉柄基部には三角形の鱗片がある。鱗片がなければガガイモ科やキョウチクトウ科の仲間。

形態 つる性の多年草。

分布 全国

名前の由来 葉をもむと臭気があることから。

葉 〈全体〉長さ4～10 cm、幅1～7 cmの楕円形または長卵形。

〈付き方〉対生。

〈葉柄〉葉長の1/2から1/3の長さ。基部には左右の托葉が合着した三角形の鱗片がある。

〈葉先〉尖る。

〈縁〉全縁。

備考 匂い。

出典 4, ※